

## 山形森林管理署 もがみ支署通信

## 【令和6年度森林・林業技術交流会の発表に向けて】

職員の前で初のお披露目。



発表後、職員から活発な意見が。



【1月22日（水）】今年度も東北森林管理局が主催する森林・林業技術交流発表会の開催に向けて、発表練習も兼ねて山形森林管理署最上支署会議室で職員向けにお披露目を行いました。

発表会に向けて、「旧薪炭共用林を活用するには？利用可能な広葉樹資源の抽出」をテーマにして研究に取り組みました。

国有林の里山広葉樹林の多くは慣行販売等により地域住民の薪などの供給源として利用されてきましたが、エネルギー源の変化や物流の発達、山村地域における生産年齢人口の減少に伴い薪などの利用が減少しています。

一方で鮭川村などでは菌床きのこ栽培が盛んで、それに利用するおが粉は最上地域外の県内外からの購入となっており、広葉樹資源を活用可能な産業も存在しています。

その様な背景もあり、活用されていない旧薪炭共用林をどのような方向で活用できるか考察した内容を最上支署職員に聴講していただきました。

発表後は職員から出た質問に回答するなど、本番さながらの練習となったところです。

山形森林管理署最上支署では、このようなテーマを研究・発信していくことで、地域の産業に寄与できるよう取り組んでまいります。

## 【西小又・小国地区森林整備推進協定に係る運営会議を開催しました。】

会議に参加した顔ぶれです。



整備状況を共有しました。



【1月27日（月）】真室川町役場会議室を会場に「西小又・小国地区森林整備推進協定」に係る運営会議を開催しました。

この協定は、西小又・小国地域の森林・林業の再生に向け、森林の多面的機能の高度発揮と資源の循環利用を図るため、協定者が連携、協力して団地化（分散した個々の所有林を集約）を推進し、合理的な路網の整備及び効率的な森林施業の実施に取り組むことを目的としています。

運営会議には協定者である真室川町・（公財）やまがた森林・緑の推進機構・小国山備荒林生産森林組合に加え、最上広域森林組合・最上総合支庁森林整備課が参加しました。

会議では、各協定者より山林の伐採・丸太の搬出や林道の作設状況に関し説明がありましたが、自然災害の影響により計画どおり事が進まなかった様です。

国有林も山地崩壊により林道が消失するなどし、事業中止の危機に直面しましたが、協定の強みを活かして協定者間で調整した結果、代替ルートも確保することができ無事に事業を完了することができました（一部の取り止めがありました）。

山形森林管理署最上支署では、これからも地域の林業・森林の再生に向け、協定者とよく連携・協力して取り組んで参ります。



山形森林管理署 最上支署  
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-1  
1 TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

